

第2回

裁判官×中高生

ZOOM インタビュー

実施報告書



佐賀地方・家庭裁判所では、裁判所や裁判官、裁判所職員について関心を持ち、理解を深めていただくために、佐賀西高等学校及び早稲田佐賀高等学校の生徒さんと、Zoom を利用した裁判官へのオンラインインタビューを実施しました。

参加者の声

神尾裁判官×佐賀西高等学校



18歳から裁判員に選ばれる可能性があるということで、その際の自覚が高まったように感じた。



裁判官は公正を順守するお堅い人だと思っていたが、明るい雰囲気職場の雰囲気も良く、意外だった。

1つ1つの質問に分かりやすく丁寧に対応していただいたので、とても充実した時間になった。



～裁判官の感想～

高校生の皆さんとお話をする事ができ、大変刺激になりました。これを機に裁判所や法曹に興味をもってくれる方がいらっしやればとても嬉しく思います。

名倉裁判官×早稲田佐賀高等学校



参加者の声



現職の裁判官にお話を伺うという貴重な体験ができてよかった。これからもこういった機会に参加したい。

裁判官という職は責任が重い誇れる仕事だなと思う。将来、裁判官を目指してみたい。



今まで遠い存在であった裁判官のことがよく知れて、少し身近な存在になった。

～裁判官の感想～

日々の報道と刑事裁判を関連付けた質問や、死刑制度の是非といった刑事政策に関する質問があり、高校生の刑事司法への関心の高さは想像以上で、意外な視点に触れることができ、大変有意義な機会となりました。また、「将来裁判官を目指してみたい」との感想も頂くことができ、非常に嬉しく思いました。



さいニヤン
裁判員制度広報キャラクター